

軍極秘

特別根拠第六號、七
和十九年十月二二日

第三十一特別根拠地隊司令官

海軍大臣殿

舞鶴鎮守府司令長官殿

戰歿者、件報告 (舞鶴在籍者)

戰歿者 日時刻	戰歿者 場所	戰歿者 死因	戰歿者 状況	官(職)	氏名	電報符號
一九九一 〇三〇	比島	戰傷死	與敵激戦、 九二重傷、 三〇〇〇 上、 三〇〇〇	有大尉	平野進	ヨリ二五六
一九九二 〇九五	比島	戰死	與敵激戦、 三〇〇〇 上、 三〇〇〇	有兵曹長	上島金次郎	ホ一六〇三
"	"	"	"	一曹	東亭榮治郎	838
"	"	"	"	同	寺島博志	2369
"	"	"	"	同	安村信一	2307

一 同 同 同 同 同 同 一 同 同 同 同 二
機 曹 水 曹

綿貫聖一	富田清藏	木村幸作	本間重太郎	松島清一	新宅勇次郎	山田豊吉	吉田三郎	山田信良	西田秋一	上田仁太郎	横山忠次郎	原田太助
室	二	補	三	"	"	補	三	"	"	室	"	志

23303	989	965	1747	553	6117	22172
	1767	1746	5951	4027	22156	

1369

[illegible]

1370

一六三〇 北条時義 金末路 〇九二二 〇三三四	一六三〇 北条時義 金末路 〇九二二 〇三三四	一六三〇 北条時義 金末路 〇九二二 〇三三四	一六三〇 北条時義 金末路 〇九二二 〇三三四	一六三〇 北条時義 金末路 〇九二二 〇三三四
戦死	戦死	戦死	戦死	戦死
上記の時義は戦死 〇九二二 〇三三四	上記の時義は戦死 〇九二二 〇三三四	上記の時義は戦死 〇九二二 〇三三四	上記の時義は戦死 〇九二二 〇三三四	上記の時義は戦死 〇九二二 〇三三四
遺骸	遺骸	遺骸	遺骸	遺骸
水兵長	水兵長	水兵長	水兵長	水兵長
中山止雄	中山止雄	中山止雄	中山止雄	中山止雄
〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四
有兵曹長	有兵曹長	有兵曹長	有兵曹長	有兵曹長
八木寛忠	八木寛忠	八木寛忠	八木寛忠	八木寛忠
〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四
國井七郎	國井七郎	國井七郎	國井七郎	國井七郎
〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四
神保佐武	神保佐武	神保佐武	神保佐武	神保佐武
〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四
齋藤八十吉	齋藤八十吉	齋藤八十吉	齋藤八十吉	齋藤八十吉
〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四
谷口明一	谷口明一	谷口明一	谷口明一	谷口明一
〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四
加藤芳郎	加藤芳郎	加藤芳郎	加藤芳郎	加藤芳郎
〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四
南部政男	南部政男	南部政男	南部政男	南部政男
〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四	〇九二二 〇三三四

27.

一 九 二 五	〃
百 三 歳	〃
戦 後 死	〃
戦 後 死 百 三	〃
有	〃
一	一
水	水
古 田 文 比 古 三 補 328	土 田 六 之 助 三 補 711

1372



三一特根機密第六號、九

和十九年十月一日

第三十一特別根據地隊司令官

海軍大臣殿

吳鎮守府司令長官殿

戦歿者ノ件報告（吳鎮在籍者）

戦歿年月日時刻	戦場	戦死	戦死ノ状況	遺骨有無	官職	氏名	電報入籍番
一九九三 一三五〇	百三病院	戦傷死	九二一〇九三第一二三ラス Y基地対空戦中爆 傷九二一三〇百三病院 戦傷死	有	一水	生頼逸治	二補 515

（終）



三一特根機密第六號ノ二
和十九年十月一日

海軍大臣 殿
第三十一特別根據地隊司令官

高雄警備府司令長官 殿

戦死者ノ件報告 (高警在籍者)

戦死年月 時刻	戦死 場所	戦死 区分	戦死ノ状況	遺骨 有無	官(職)	氏名	原報符又 入籍番號
一九九二 〇九・五	マニラ 司令部附近	戦死	カビラ陸警部隊ヨリ公用 便トシテ本部ニ來隊ノ 處敵機ノ空襲ヲ受ケ 至近彈ニ依リ爆死	有	一水	黄水源	志 90

(終)



三一特根機密第六號一。
昭和十九年十月一日

海軍大臣殿
第三十特別根據地隊司令官
佐世保鎮守府司令長官殿

戦死者ノ件報告(佐鎮在籍者)

戦死年 月日時刻 一九三〇 二一四〇	戦場 比島 ルック湾	戦死 ノ区分	戦死者ノ状況 附属艇四十二号駆 潜特務艇乗組 ルック湾ニ遊弋中 敵戦斗機六機ト 交戦一五三〇敵機 ノ銃撃ヲ受ケ戦死	遺骨 有無	官(職)	氏名	電報符 入籍番
		戦死		遺髪	二曹	平井時雄	志 5522

(終)

軍秘

三
特根機密第六號、八

和十九年十月一日

第三十一特別根據地隊司令官

海軍大臣 殿

横須賀鎮守府司令長官 殿

戰歿者、件報告（横鎮在籍者）

戰歿年月日時刻	戰場	戰歿所	戰歿区分	戰歿状況	遺骸有無	官（職）氏名	電報符號・入籍番號
一九九二	比島海面	EN三六八	戦死	附屬艇七掃特乗組 ミントウ島東方海面 船団護衛任務遂行 中敵機約八ト交戦 銃爆撃ヲ受テ戦死	遺骸少尉	鶴羽金七	ホ一六一二
					兵曹長	齊藤藤助	コ一九七三
					上曹	鈴木 智	志 26577
					一曹	横山幸春	微 44801
					同	只野利雄	志 26489
					同	渡邊八郎	志 25956

1376

一九六三 〇九〇五							
マニラ 司令部 附近	"	"	"	"	"	"	"
戦死	"	"	"	"	"	"	"
白洋丸乗組中當自公 用便トレテ本部ニ派遣 サレタルコト敵機空襲 ヲ受ケ至近彈ノタメ爆死							
有	遺髪	有	"	"	"	"	"
二曹	一機曹	同	同	同	水長	同	二曹
大井末吉	富田今朝次	田崎芳雄	千葉弘	保田貞夫	窪田安平	鈴木進	瀧澤正明
徴 18660	徴 19766	志 48858	徴 57244	志 39016	" 52111	" 49753	徴 24349

1376~2

三特根機第六號ノ六三
昭和十九年十月二十日

第三十一特別根據地隊司令官

海軍大臣殿

舞鶴鎮守府司令長官殿

戦死者ノ件報告

戦死年月日	戦死場所	戦死区分	戦死状況	官(職)	氏名	電報符
一九四〇年九月十五日	比島方面	戦死	セブ島ヨリマニラ同航ノ神洋丸ニ便乗中九月十五日一五〇〇シバヤン島東方十二哩附近海面ニ墜度五分ニ於テ敵機ノ空襲ヲ受ケ競爆致シ依リ壯烈ナル戦死ヲ遂ゲ	無	菅原源一	舞臺水 二〇八三九
"	"	"	同	曹	上野惣治郎	舞臺水 二四六二
"	"	"	二曹	曹	山下義雄	二三四九
"	"	"	水長	島中	長沼	八九六九
"	"	"	田中敏男	一〇五一二		
"	"	"	葛田清一	一三二〇〇		

1377

〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
一主	〃	〃	機兵長	〃	二機曹	〃	一機曹	上機曹
小林秀吉	林金次郎	池田武夫	後藤東吉	中道一重	今井有吉	清水保雄	北村昇	鳥井好雄
舞臺主 二八五	〃 三五六一	〃 三八〇八	〃 三三三六	〃 二〇九六	〃 二〇五八七	〃 四八	舞臺機 五五	舞臺機 六一〇

(終)

1378

23.

五船体兵器機関等
 (1) 船体
 (一) 船体損傷

第五十六播州丸

損傷品名	状況	原因	處置
左舷中部外舷水線下三十糎	破孔口徑三十糎	敵機銃撃ニ依リ破孔	應急木栓ヲ塞グ
左舷中部外舷水線下六十糎	全右ニ所	全	全
左舷前部外舷水線上六十糎	全右ニ所	全	全
左舷前部外舷水線上六十糎	全右ニ所	全	全
艦橋窓硝子	硝子五枚破損	敵機銃撃ニ依リ	木板ニテ應急修理
右舷前部外舷水線上六十糎		敵機銃撃ニ依リ破孔	應急木栓ニテ塞グ
前橋維持索	一本切断	敵機銃撃ニ依リ	木板ニテ應急修理

九月十日 HIB 一七二	九月十日 HIB 五三五	九月十日 官房 〇〇二七	九月十日 官房 〇〇二四	九月十日 〇〇二二	九月十日 〇〇二二
十日 五船輸送艦 A 33 289	十日 HIB (除 30) GEB 2Kp 各P 22 289	十一日 P 3Kp 1500	十一日 P 3Kp 1500 横鎮長官	十一日 P 3Kp 1500 日産鎮	十一日 P 3Kp 1500 日産鎮
五船輸送艦 二甲標的電探 三其ノ他ノ兵器物件約半數ガシテ残リセバ揚	HIB 電令 第五〇〇番 C二七船団ヨリ第一新與丸ヲ除ク	官房 機密 第一〇〇二七番電 十日附特捕細興嶺丸特駆隊 第一〇〇二七番電 十八長運丸 第一〇〇二七番電 五十六福州丸 31289 所屬ト改ム	官房 機密 第一〇〇二四番電 十日附第七艦隊 第一〇〇二四番電 海特務艇 二四一 三十一特別 根據地 陵所 屬ト改ム	官房 機密 第一〇〇二二番電 十日附第七艦隊 第一〇〇二二番電 海特務艇 三 31289 所屬ト改ム	官房 機密 第一〇〇二二番電 十日附第七艦隊 第一〇〇二二番電 海特務艇 三 31289 所屬ト改ム

二、全遠報告

發
元日
晴

受
完
通
報
特

令達報生算

穰

HIE

五
三
一

HIB
除
30
0.087
1

九日
三
五
〇

大德卷一

九一〇一空マニラ

3
a b c
a b c
P
K p

5. HIB.

1

卷之四

川
林
等
〇
〇
〇

三
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
840
841
842
843
844
845
846
847
848
849
850
851
852
853
854

三十一番

10

•

•

•

•

14

1

1381

九月二十八日 GKF 一八一七	九月二十九日 一六一五 第八師掃海特務艇 務艇
于八月二十五日 第八師驅潛艇 第八師掃海特務艇 第八師長運儿 GKF	二十九日一七〇四 GKF 菲島部隊
第八師掃海特務艇 發作參謀長 伊良湖火災島今及修理使用ノ見込ニ立ケル狀況ニテハ一部監視員ヲ殘置シ其ノ他ノ乘員ハ便アリテ第八師ヨリ歸投セシメ	第八師掃海特務艇 發 第八師掃海特務艇長 一 本艇及第八師驅潛特務艇バヤット灣着 二 船底辰春丸信貴山丸天展丸第一眞盛丸共榮丸 三 未ダ敵艇ノ乘艦ナシ 四 各艇共燃料及食糧不足ノ情況ニテマシテ回航以外行動不能ナリ 五 マシテ回航時ハ特ニ護衛艇増派ヲ要スルニ即配慮コトナリ

九月三十日 一七三〇 菲島部隊	南支那海一 スルベレス海 菲東海各船舶 ミリ方面 本通	九月二十四日 二一九九 菲島部隊	九月二十一日 一五五五 菲島部隊	九月十八日 一八二三 菲島部隊
菲島部隊機密第三七三〇番電	HIB電令作第三九號 航空方面退避中、艦船のラニ同航ヲ取止メ西へ退ク CZ W/H HIB電令作第三八號、依り行動シ在コソ方面ハ狀況 ト報告セリ 通報HIB電令作第三八號、大カキテ	HIB電令第五二號 菲島部隊機密第四二五八番電 中華部隊指揮官ハ第三二設隊主マツタバニ前進セシ 震洋隊其他、位置リタク前進フ設隊主ハ從事スベシ 出時期ハ三機密第二八二二番電ノ通トス 通報一〇三號設隊部	菲島部隊機密第一長運 HIB電令第五三號、依り一八二二番電ノ通トス 通報一〇三號設隊部	HIB電令第五四號 菲島部隊機密第二八二二番電 八月五日ハ、ハマスアガ島ウカリオン島周辺ヲ搜索シ遭難揚陸 人貝ヲバエラセタルハ、散投セリ

九月二十日 一六、五 照風丸	三〇日一七、九 P KF 菲島部隊	照風丸機密第三二六、五番電 發照風丸艇長 Cニニ船内マバテ西岸、ルック湾ニ避泊ス
九月二十日 一六、五 第七掃海特務艇	三〇日一八、八 P KF P 三〇、八 九五画 空 菲島北部隊	第七掃海特務艇機密第三二六、五番電 發第七掃海特務艇長 一掃海丸(三三)行便乗者三八五名、任務終ニ待合、都合上、キマスニ避退ラ止、本艦ニ護衛マシラ、向、速カハ節 ニ三十一日、ハ、セ、イ、ヌ、セ、(ニ行、イ、ヌ、セ、)ヒント、ハ、島、ハ、ハ、モ、シ、 ボ、ラ、イ、水、道、ニ、五、日、ハ、五、〇、〇、バ、ル、デ、北、水、道、一、七、〇、マ、リ、着、手、定、
九月二十日 一八、八	三〇日一三、〇、五 P GKF	機密第三二八、八番電 貴機密第三二八、八番電 貴機密第三二八、八番電 一、副官ハ主計長兼務シ他、予備士官一名補 二、第三西根ラ、依、輕用、持、務、士官以下左通り 三、中、尉、(水、一、兵、曹、二、九、信、一、水、兵、一、三、九、信、三、機、密、一、
九月二十日 一七、七	三〇日一三、四、〇 GKF P SKF 2KF P 三、四、〇、九	機密第三二七、七番電 貴機密第三二七、七番電 一、副官ハ主計長兼務シ他、予備士官一名補 二、第三西根ラ、依、輕用、持、務、士官以下左通り 三、中、尉、(水、一、兵、曹、二、九、信、一、水、兵、一、三、九、信、三、機、密、一、

九月二十日 一三三七 菲島部隊	九月二十日 一三三一 HIB	九月二十日 一三三八 菲島部隊	九月二十日 一三五〇 菲島部隊
九月二十日 一四五三 高砂丸	九月二十日 一四〇五 海八二五三 十二運航指撈渡所 駆逐特四九四 駆逐特三七三六 P IKEY P GEB	九月二十日 一四〇五 海八二五三 十二運航指撈渡所 駆逐特四九四 駆逐特三七三六 P IKEY P GEB	九月二十日 一四〇五 海八二五三 十二運航指撈渡所 駆逐特四九四 駆逐特三七三六 P IKEY P GEB
HIB 機密 第二二二七番電 マニラ方面空襲中 高砂丸 便宜待避セヨ	HIB 機密 第二二二七番電 マニラ方面空襲中 高砂丸 便宜待避セヨ	HIB 機密 第二二二七番電 マニラ方面空襲中 高砂丸 便宜待避セヨ	HIB 機密 第二二二七番電 マニラ方面空襲中 高砂丸 便宜待避セヨ

九月十九日 〇八五〇 支那海軍特務 口 五七	九月二十日 一〇三五 支那海軍特務 口 五七	九月二十日 一〇九〇 支那海軍特務 口 五七	九月二十日 一〇九〇 支那海軍特務 口 五七
九月二十日 一〇九〇 支那海軍特務 口 五七	九月二十日 一〇九〇 支那海軍特務 口 五七	九月二十日 一〇九〇 支那海軍特務 口 五七	九月二十日 一〇九〇 支那海軍特務 口 五七

九月十二日 HIB 一四〇〇	九月十二日 一四二〇	九月十二日 一四二〇	九月十二日 一四二〇	九月十二日 一四二〇
九月十二日 HIB 一四〇〇	九月十二日 一四二〇	九月十二日 一四二〇	九月十二日 一四二〇	九月十二日 一四二〇
九月十二日 HIB 一四〇〇	九月十二日 一四二〇	九月十二日 一四二〇	九月十二日 一四二〇	九月十二日 一四二〇
九月十二日 HIB 一四〇〇	九月十二日 一四二〇	九月十二日 一四二〇	九月十二日 一四二〇	九月十二日 一四二〇

九月十日 興嶺丸 一〇〇	九月十日 HIB 一五五八	九月十日 生井島部隊 一六三四
興嶺丸 機密 第二二〇番電 日米交渉の進展に外海上に上陸の準備がなされ、 第一上京の依頼がシカゴにあり、海軍の地盤に セブ着、予定の二重砲十三門を補給の方配に HIB 機密 第二二五八番電 HIB 指令 第六一號 高司令、間一搬上陸外、出撃の各部隊各々（機部） ハ極力戦備防備、促進充実に専心邁進スベシ	九月十日 HIB 一五五八	HIB 電令 第三三〇四號 九月十日附、菲島部隊兵力部署、作戦担任境界等 左通り改（部隊指揮官兵力主要任務、項） 一、第三十一警備部隊 第三十一特根司令官 第三十一特 根部隊（三通信隊 三十一港務部 十九二十二駐 洋艇掃三） 三十一更雷艇 担任区域、防備警戒、対清掃湯、海上護衛、一部 航空基地、奇襲兵力、基地整備、主要港灣の防備 マニラ港港務管理 三十三警備隊 三十三特根司令官 三十三特根部隊 二五三二設營隊 三十三更雷艇隊中、菲航空部隊（航空セブタタバン）各一

1392

楊 鋪 機	筋 齒 車 (入 止 井 溝)
燒 玉 機 械	部 甚 レ ク 磨 耗 不 良 井 ハ 付 嚙 合 不 良 定 滑 リ ナ ス モ ト 認 ム
永 年 使 用 磨 耗	

1393

人 操 舵 標 置 (起 動 筒) 故 障
二 槓 (前 部) 缺 損
三 破 孔 水 線 下 (約 八 個) 水 線 上 約 七 〇 〇 (浸 水 排 水 中)

照 風 丸

第七號掃海耕務艇

損傷部亡失品名	情 況	原 因	處 置
左右外艇 (木 際 上)	銃 撃 三 依 リ 破 穴	砲 火 約 八 個 以 上 ミ ン ナ 敵 機 急 降 下 依 リ	木 栓 三 應 急 修 理
艇 内 全 般	右 同	多 数 破 穴 同	

最 上 丸

昭和十九年九月十二日 野 鬪 三 依 リ 沈 没 ス

50

昭和十九年九月十二日、戦艦ニ依リ爆破炎上ス
 (二) 船体改造修理新設

第十八長運丸

第四十四號駆潜特務艇

科別		工事内容		着工年月	竣工年月	工事施行理由
内務	工	艦底及重鉛被破損部修理		一九四二・五	一九四二・五	長期使用為腐蝕
	工	艦取付螺釘修理		一九四二・六	一九四二・九	弛緩脱落ニ付
	工	船体外板舷頭隙		一九四二・五	一九四二・五	漏トニ付
	工	冷蔵庫		一九四二・八	一九四二・三〇	腐蝕ニ付
	工	厚布地管天蛇止置換所		一九四二・八	一九四二・三六	折損使用ニ付
	工	主炊所カマド耐火煉瓦		一九四二・八	一九四二・三六	毀損ニ付
	工	電信室通風筒位置変更		一九四二・八	一九四二・三〇	通風ニ付
外務		扉開閉用ハシ及螺釘		一九四二・八	一九四二・五	折損ニ付

工事内容	着手年月日	竣工(予定)年月日	工事施行理由
船体内外舷	一九一〇—	至	機銃彈貫通破損ノタメ
兵員室月	"	"	"
露天甲板	"	"	"
艦橋	"	"	"
艦橋防弾板	"	"	"
機銃室防弾板	"	"	新設必要ニ付

砲術長	揚備機手輪	艦橋防弾板	新設
九式重機銃新規格	一九一〇—一七	一九一〇—二六	使用不可ニ付
九式重機銃新規格	一九一〇—一七	一九一〇—一〇	新規設定
九式重機銃新規格	一九一〇—一七	一九一〇—一〇	新規設定
九式重機銃新規格	一九一〇—一七	一九一〇—一〇	新規設定

第四十二号 驅逐特務艇

口兵器

(一) 主要兵器故障・故障損失

第五十六播州丸

科名	兵器名	状況	原因	処置
通信科	九七式特五號送信機	配電盤高圧接断器作動不能	敵機銃撃に依り	高圧調整器直通結使用ス

第七號掃海特務艇

科別	兵器名	故障	故障損失	記
機雷	対艦式掃海具掃索		二	九月十四日敵機に被弾に依り
	鐘量		三	
	沈鐘		三	
	吊式K型水中聴音器	一		
	改二式短程高角砲	一		
	七七糧機銃	一		

通信				砲術						
九九式測波器	九九式短測波器	九三式特短信機改四	九三式特五號送信器	小銃 小口式四	七七式 彈倉	八七式教練彈藥包	夜光週開掛時計	七倍稜鏡双眼鏡	八七式双眼望遠鏡	須式手動中程探照灯
一	一	一	一				一		一	一
				三	七	二			七	
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	九月三日敵ト交戦 被弾ニ依リ

科別	兵器名	原因及情況	修理處
砲術科	探照燈前面硝子	機銃彈貫通破損	修理處
	探照燈前面覆	"	"
	探照燈旋回目蓋	"	"
	探照燈覆	"	"
	輕便探信儀受振器外蓋	"	"
水雷科	輕便探信儀	"	"
	電鏡計硝子	"	"
	昇降用手卷鎖	機銃彈貫通切損	"
	昇降用手卷鎖	"	"
	昇降用手卷鎖	"	"

科別	兵器名	情況	原因	處置
航海科	七倍双眼鏡	使用不可能	被彈	
	秒時計	修理上使用可	衝擊依リ	

第三長運力

第四十二驅潛特務艇

第三十三長運丸

1398

機雷科	運用科	通信科	航海科	砲術科	科別
爆雷投下器	九三式探信儀送波器	滋氣羅針儀	送受信機	八種双眼望遠鏡	兵器名
小破	大破	大破	亡失	亡失	情況
右	右	右	右	右	原因
同	同	同	同	同	處置

砲術科				
砲側彈藥筐	銃把	發砲電纜	發砲電池筐	圓錐台扉
使用不可能	接續金被彈為破損	使用不可能	螺着接斷	圓錐台令離
被彈	"	"	"	"

被彈部ハ應急処置トシテ
木枠布切レテ穴ヲ塞ギ
アルモ電氣銃把使用不
可能ニ付撃手装束置テ
現在使用中居リ

照風丸

1399

53

科別		工事内容		工事施行理由	
航海科		九式磁氣羅針儀自差修正	一九一九一九	一九一九一八	不具合計 艦橋防禦新設、為
通信科		三式蓄電池十型二十六號 九式無線機等試驗器甲	一九一〇一八	一九一〇一〇	電圧低下測定不能
機雷科		輕便探信儀記錄器電動機	一九一九一七	一九一九二三	迴轉不具合
砲術科		七倍鏡 双眼鏡	一九一九一八	一九一九一八	鏡面浸蝕
工事内容		着年月日	竣工年月日	工事施行理由	
主要兵器改造修理新設調		着年月日	竣工年月日	等四號驅逐特務艦	
補機燃料油送油管破損		右	同	應急修理	
電路破損		右	同		
五KW發電機破損		右	同		
全推進器翼屈曲		右	同		
主機棒除空氣筒破損		右	同	應急修理	

水雷科				砲術科		砲術科			
受振器千円	輕便探信儀	昇降中牛卷鎖	輕便探信儀	輕便探信儀	受振器外置	輕便探信儀	電流計硝子	輕便探信儀	昇降中牛卷鎖
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
"	"	"	"	"	"	"	"	"	至急
王受軸座ヲ実物大ニ削ル	"	"	機銃彈貫通破損ニ付キ	新造	新設	新設	新造	"	機銃彈貫通破損ニ付キ

1401

54.

三 主要兵器消耗補給狀況調				第三五號驅潛特務艇	
消耗兵器名		消耗数	補給数	記 事	
九三式三粒機銃彈藥包		一三〇〇	一八〇〇		
九九式小銃普通實包		三五〇	五〇〇	第五十六掃洲丸	
科別	兵器名	消耗量	補給量		
水雷科	九五式爆雷	六			
砲術科	安式一號短入糧普通彈	三			
	三八式小銃彈藥包	一〇			
	七七彈藥包	二一〇			
第八號掃海特務艇					
科別	兵器名	消耗量	補給量		
砲術科	短八種高角砲彈	四二			

砲術科		砲術科		砲術科	
科別	兵器名	消耗量	補給量	記	備考
砲術科	九式七七耗機銃彈	六	六		
砲術科	九式小銃彈	六	六		
砲術科	九式尖銳高射信管	一〇三			
砲術科	九式傳火筒	一〇三			
砲術科	五式彈頭信管	一			
砲術科	夾二號擊發火管四型	一〇四			
砲術科	九式耗機銃普通彈藥包	二一〇〇			
砲術科	九式小銃並通貫包	五〇〇			

五

砲			機関科					砲術科	科別
九五式爆雷改ニ	九五式爆雷	甲種短入種砲装束包	帶酸蒸留水	ビ式五燭電球	ビ式ニ燭電球	工式アルゴン電球	工式電球四〇W	九九式小銃	兵器名
四個	五個	一八個	一〇(五)	三	一	三	三	空包 一四〇〇	消耗量
等ニ十長運丸			+					補給量	

第四十二號駆潜特務艇

砲術科					科別
兵器名	消耗量	補給量			
十三粒機銃彈藥包	八・八				
七七粒機銃彈藥包	四〇・〇				
九一式小銃彈藥包	二〇・〇				
一四式拳銃彈藥包	二〇				
九五式爆雷改二	一九				

術科					
二號通榮彈藥炸藥英改二	一八發				
五年式彈頭信管改一	一八個				
英一號電氣火管四型	一六個				
英一號擊發火管四型	二個				
三式小銃彈藥包	五〇發				
米式七七粒機銃彈	四五〇發				

照風丸

1405

56.

部			機	機	
九二四推進器	九二〇軸	九二〇軸管	九一九主機 主機 分解	月日項目	作業時ノ状況
腐蝕甚キ為入渠修理工事 百三工作部ニ依頼工事中	陸揚工事中	入渠付中心検査、為百三工作部 陸揚工事中	漏水甚シキ為入渠拔出検査百三 工作部ニテ工事中	現狀確認、為開放検査スルニ 三番發動シリンダー異狀ヲ認メ ズ復旧 四、五番發動シリンダークランク栓 上部裏金目色合金重剥衣剥脱 セルヲ發見セリ依テ百三工作部ニテ 修理工事中	作業員 作業時數 作業進度
				六 二〇一〇 九一〇八〇着午 二四一六〇終了	

(一) 主要機関整備状況調

第三四號駆潜特務艇

第七號掃海特務艇

1406

部	主機	部
九一三	主機 冷却水管	作業状況
九一二	主機 燃焼不良ニ付取外、検査予備品ト取扱	作業員 下士官一兵一
九一一	主機 燃焼不良ニ付取外、検査予備品ト取扱	作業時数 一—三
九一〇	主機 燃焼不良ニ付取外、検査予備品ト取扱	作業 破孔管取外自爛ヲ持込、應急修理ス(良態)
九〇九	主機 燃焼不良ニ付取外、検査予備品ト取扱	作業進度
九〇八	主機 燃焼不良ニ付取外、検査予備品ト取扱	
九〇七	主機 燃焼不良ニ付取外、検査予備品ト取扱	
九〇六	主機 燃焼不良ニ付取外、検査予備品ト取扱	
九〇五	主機 燃焼不良ニ付取外、検査予備品ト取扱	
九〇四	主機 燃焼不良ニ付取外、検査予備品ト取扱	
九〇三	主機 燃焼不良ニ付取外、検査予備品ト取扱	
九〇二	主機 燃焼不良ニ付取外、検査予備品ト取扱	
九〇一	主機 燃焼不良ニ付取外、検査予備品ト取扱	
九〇〇	主機 燃焼不良ニ付取外、検査予備品ト取扱	

57.

主機械排氣管及冷却水管	
銃彈、為電氣室、生、冷却水、漏、或、甚、工、作、部、修、理、請、求、瓦、斯、熔、接、ヲ、施、行	
一〇三工部	二名
四一〇〇	同日完

照風丸

部	月日	項目	作業時、状況	作業員	作業員時数	作業、進度
機械部	九、八	燃料透過全網	腐蝕ニ付	四	四	一号二号共新換復旧人
補機部	九、四	電動機電路	銃撃依リ切断	三	二	電動機及重油機、電路應急修理復旧人

第五十六播州丸

部	月日	項目	作業時、状況	作業員	作業員時数	作業、進度
罐部	九、二	汽筒	汽筒蒸氣管中間部、破、彈、其、通、為、使、用、不、能、ト、シ、應、急、修、理、不、可、能	二	四	

電氣部

第四十二號驅潛特務艇

月日	項目	作業時、状況	作業員	作業員時数	作業、進度
九、二	蓄電池	定期ニ付検査、比、重、甚、減、シ、認、其、他、異、狀、ヲ、注、意、補、充、電、施、行	二名	九一〇	同日完

1406

九三〇	十五KW 發電機	燃焼不良付検査スルニ番發動用 用油并稍不良ナルヲ認メ該弁 閉合セリ上計通度數ニ調整後目 排煙困難トナリ且排氣管及 煙路掃除施行ニ多量ノ炭化物 蓄積掃除スル上復用	二名	一〇〇	同日完
-----	-------------	---	----	-----	-----

(二) 機関待機

第五十六橋州丸

期	主 機 械 制 式 及 数	堅 三 段 膨 脹 ポ ー ト 式 一 基
航 海 中	即時待機 (節)	+
(五五時三五分)	十五分待機 (節)	二時間十五分
全 力	三十分待機 (節)	+
ナ	一時間待機 (節)	六時間

主制式及數

單動三衝程無氣噴油引擎式五五馬力 基
自昭和十一年九月一日至昭和十一年九月三日

十

海士
(附分)
即時待機(一)
十五分待機(二)
三十分待機(三)
一時間待機(四)

卷四十二 駝溝特務殿

是式是

海軍刊行 四〇馬力寧勳四サイル蒸氣噴油式 一其

子

即時待機

時

三十一
街

自十一月一日起	至十一月五日止	為村空盤算	自十一月一日起	至十一月五日止	為村空盤算
自十二月一日起	至十二月五日止	為村空盤算	自十二月一日起	至十二月五日止	為村空盤算
自一月一日起	至一月五日止	為村空盤算	自一月一日起	至一月五日止	為村空盤算
自二月一日起	至二月五日止	為村空盤算	自二月一日起	至二月五日止	為村空盤算
自三月一日起	至三月五日止	為村空盤算	自三月一日起	至三月五日止	為村空盤算
自四月一日起	至四月五日止	為村空盤算	自四月一日起	至四月五日止	為村空盤算
自五月一日起	至五月五日止	為村空盤算	自五月一日起	至五月五日止	為村空盤算
自六月一日起	至六月五日止	為村空盤算	自六月一日起	至六月五日止	為村空盤算
自七月一日起	至七月五日止	為村空盤算	自七月一日起	至七月五日止	為村空盤算
自八月一日起	至八月五日止	為村空盤算	自八月一日起	至八月五日止	為村空盤算
自九月一日起	至九月五日止	為村空盤算	自九月一日起	至九月五日止	為村空盤算
自十月一日起	至十月五日止	為村空盤算	自十月一日起	至十月五日止	為村空盤算

第八號 機務部 報告書

主機式及数	期	時分
單動四サイクル蒸氣機関	九月九日 九月三十日	即時待機 十五分待機 三十分待機 一時間待機
計		九分 三三 五十一 〇 二二 五十一 〇

第七号掃海特務艇

主機式及数	期	碇泊中
單動四衝式蒸氣噴油エンジン機械	九月 中	十五分待機 一時間待機
合計		二〇 五八 〇〇 七八 〇〇

59.

四
参
考
戦
訓
寫
眞
ナ
シ

1412

醫務衛生

(一) 出征中の事項

(二) 天候の概要並に氣象の衛生的影響

本月上旬の一般に晴天、日多かりしを殆ど毎日驟雨來襲し暑熱和らぎ

不慮や易う特記スべき衛生的影響等ヲ認めザリキ

日次	正午天候			最高			最低			平均		
	晴	曇	雨	氣圧	氣温	湿度	氣圧	氣温	湿度	氣圧	氣温	湿度
マニラ	六	三		七五九	三一四	七六	七五〇	二九八	六二	七〇九	三〇四	八六九

(三) 月日所在及任務行動の概要

當隊ハ從前通りマニラ市内各方面に警備ニ從事シ「ギヤビテ」マニラ「ス」ガボ
「ガスピ」ラモン各派遣隊ハ各担任区域に警備ニ當リ「コレヒドル」島ノ水上に警備
隊ハマニラ灣及スピツ灣に警備並に水路嚮導連絡等ニ從事セリ

(四) 出征中に於ける治療品被服糧食飲料水其他衛生ニ関係する物品の概況
並に補給の概況

(五) 治療品の部 (第百三海軍病院ヨリ受入タリ)

藥品

品名	稱呼	数量
マフリメツ	疋	一〇

四被服

本月九日迄、被服補充数量左ノ如シ（何モ第百三海軍軍需部ヨリ補充セリ）

品名	稱呼	数量	品名	稱呼	数量
下士官防暑衣	甲	六〇	略	帽	一〇〇
袴甲	個	一五〇	並蚊帳	個	三〇
下士官襦袢青色夏襟袴	組	一〇〇	護底紺足袋	組	一〇〇
陸軍用縮上靴	組	五〇			

糧食

糧食生糧品ハ從前通り第百三海軍軍需部ヨリ補充セリ
 本月九日迄、受込数量左ノ如シ

品名	稱呼	数量	品名	稱呼	数量
乾パン	斤	一五〇	骨付生魚肉	斤	四二〇・九
精米	斗	五〇・五四	無骨生魚肉	斗	六〇・四
乾鰯類	斗	九〇	生野菜	斗	二四・四二四

61.

(二) 飲料水

飲料水トシテ、マシラ水道水ヲ使用、水量豊富ナルモ、最近濾過施設ノ不備、殺菌剤ノ缺乏等ニ依リ、水質検査成績ニ依リ、濾過飲料適ナリ。

酒係物品ハ前月ヨリノ在庫品ヲ販賣スル外、本月九日迄ニ、第百三海軍經理部

香	無	骨	塩	砂	粉	ソ	醬	酢	油	粉
辛	骨	付				ス			物	類
料	生	生				類	油		油	類
	肉	肉		糖	油			立		
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
大	三	二	四	二	一	八	六	三	七	一
六	七	二	〇	六	五	七	九	二	二	三
混	調	調	無	乾	塩	旧	新	生	生	味
汁	味	味	骨		魚	漬	漬	牛	果	
用	用	用	乾		肉	物	物	乳	物	噌
ビ	乾	乾	魚	物						
タ	物	魚	肉							
ミ										
ン										
B,										
	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
						五	一		一	二
七	一	七	八	四	五	三	四	五	三	三
、	〇	八	〇	一	三	五	七	〇	七	七
五					四	五	七		四	二

ヨリ左記ノモノヲ受込シリ尚清涼飲料菓子類其ノ他飲食品ニ對シテハ受込ノ節
當時ニ積各ヨリ嚴重ニシテ受質腐敗ノ疑ヒタルモノハ一切之ガ販賣ヲ禁止シツツアリ

[illegible]

(乙) 出征中、衛生狀況
 (丙) 受療患者、狀況
 (丁) 野人

(四) 軍人外

自九月一日 至九月九日	現員	現員延数	毎千比例	新	外傷性	病傳染病	結核病	患	送隊数
五三三三	一三三三	一三三三	一三三三	五	一	一	二	一七	

自九月一日 至九月九日	現員	現員延数	毎千比例	新	外傷性	病傳染病	結核病	患	送院数
四三六三	一三五〇	〇二五	一三二四	一	一	一	一	二	

二 傳染病流行病風土病一時ニ多發セル傷病ノ狀況
 四 傳染病發生狀況

自九月一日 至九月九日	病	名員数	發	生	場	所
九、四、七	志賀型細菌性赤痢	一	キヤニテ派遣隊勤務員中ヨリ發病			

(四) デング熱ノ發生狀況左ノ如シ

生	場	所	員数	發	生	場	所	員数
ニ	ラ	本	部	五	下士官兵集會所(仮入隊者)			七

(カ) 被服防寒防熱換氣入浴等ノ衛生ニ関スル事項

被服洗濯ハ休憩時間並ニ夕別科後自由ニ行ハシメ寢具ハ本期間中一回日

光消毒ヲ施行セリ入浴ハ本部派遣隊ニ在リテハ毎日許可セラレタリ

(9) 防疫傷病防止其ノ他保健ニ関スル事項

八月四日キヤビテ派遣隊勤務員中ヨリ志賀型土細菌性赤痢患者一名發生セルニ依リ即見病者三海軍病院ニ送院スルト共關係者ニ對スル総員檢便ヲ施行シ處全部陰性ニシテ其ノ後續發患者ヲ見ズ

(10) 前月同様週例大掃除ノ勸行並ニ其ノ際隊内各部ノ藥液消毒ヲ施行尚兵舍附近ノ貯水罐水溜下水溝等ニ對シテフアリツヲ撒布シ蚊ノ發生防止ニ力メツアリ

(11) 醫務衛生ニ関スル令達報告ノ大要
(12) 令達

九月五日	第三南遣艦隊 戰訓參考(其ノ三)送付ノ件通知	事
八月	第四五子ノ四七 燭撲滅ニ関スル件申進	
報告		
月日	名	記
九月五日	海軍省醫務局長	八月分患者月表
		事

報告

62

第三南道艦隊軍醫長	治療品現在量報告
第三南道艦隊副官	傳染病發生報告
舞鶴海軍人事部長	公務罹病者名簿
吳海兵團軍醫長	
橫須賀海兵團軍醫長	
横須賀通信隊軍醫長	
第四艦隊軍醫長	

(12)

兵員勞働慰安並ニ休養等ノ概況

(13)

教育訓練ニ関スル事項

戰局ノ逼迫ト共ニ戰備防備強化作業ノ爲時ニ夜間作業モアリタルモ本
期間中ハ尚前月同様週一回四時間宛ノ散歩外出許可サレタリ
目下空襲必至ノ形勢ニ在リテ寸刻ノ閑ヲ許サズ看護科員ニ対シテハ空
襲時ニ於ケル應急處置法ヲ充分ニ教育シ担架隊員ニ対シテハ傷者運搬
法救急法等ノ補習教育ヲ朝夕ノ別科時ヲ利用シ充分ニ施シ漏遺漏ナ
キヲ期シタリ

(終)

醫務衛生

(一) 出征中ノ事項

(二) 天候ノ概要並ニ氣象ノ衛生的影響

本月中曇天ノ日多ク氣候一般ニ溫和ニシテ夜ギ易ク特記スベキ衛生的影響等ヲ認めス

地名	正午天候最				高最				低平均			
	晴	曇	雨	氣圧	氣温	湿度	氣压	氣温	湿度	氣压	氣温	湿度
マニラ	三	一六	二	美八	三三	八五	七五	二七	四四	四四	二八	九一

(三) 月日所任及任務行動ノ概要

當隊ハマニラ本部ギヤビテ「カバレス」ガ「ロ」ガ「レ」ガ「ス」ビ「ラ」モ「ン」各派遣隊

ニ對スル醫務衛生防疫作業ニ從事

(四) 出征中ニ於ケル治療品被服糧食飲料水其他衛生ニ関係アル物品ニ

關スル事項並ニ搭載補給ノ概況

(五) 治療品、部(何レモ第百三海軍病院藥劑部ヨリ受込タリ)

(六) 藥品

品名	稱呼	數量	品名	稱呼	數量
----	----	----	----	----	----

マ ラ リ メ ツ				斤				一〇				タンニン酸坐劑				個				五〇			
(一) 消用品																							
品				名				稱呼				品				名				稱呼			
一號 繃帶包				個				三〇〇				醫務用紙				枚				四〇			
二號 繃帶包				個				一、二〇〇															
(四) 被服																							
九月中被服補充数量ヲ如之何ニモ算入ス海軍軍需部ヨリ受込タリ																							
品				名				稱呼				品				名				稱呼			
下士官用 褐色 夏衣袴				個				三四〇				略				靴				個			
〃 夏袴				個				四〇〇				甲 號 毛 布				枚				五六〇			
褐色 青色 卷脚絆				組				三六六				前				個				一五			
戰 斗 帽				個				八七				護 護 底 紺 足 袋				足				二一〇			
防 暑 衣 袴				個				二七二				護 護 長 靴				個				一九			
作業服 袴				個				七五				准士官以上用 褐色 夏衣				個				四三			
〃 袴				個				二五				〃 袴				個				二二			
〃 袴				個				一四三				〃 袴				個				一〇			

品名	数量
生果	一、五二
茶葉	二〇四
醬油	一、三四
酢	四二
ソース類	四二
果汁シロップ	一三〇
生果物	二五
魚肉	六六六
野菜肉	八六六
菜肉	六五六八〇
味噌	七八三四

(二)飲料水

飲料水トシテハマニラ水道水ヲ使用セリ

酒保物品ハ前月ヨリノ在庫品ヲ販賣セル外第百三海軍經理部ヨリ左記、
 物ヲ受込タリ尚清涼飲料水果子類等ノ飲食食品ニ就テハ特ニ検査ヲ
 嚴重ニシ變質腐敗ノ疑ヒアルモノハ一切之ガ販賣ヲ禁止シツクアリ

品名	数量
ビール	三二〇
酒本	一〇〇
果汁罐詰	四二

付野菜魚肉罐詰	個	一五五〇	洗	石	三二五〇
少イヌキ	本	三一〇	面	石	一五〇〇
清凉飲料	箱	二〇五〇	封	筒	三〇〇
草	箱	五一六〇〇	夕方	ル	三五〇
子	個	五三〇〇	靴	下	二五〇
獨	個	六〇〇	襪	足	六〇〇

軍人外
 現員延敷毎千比例
 新患心
 送院数

背計日	三六六三	西四六	一三二	一三二九	一三二	四	五	一六	一四二
現員延敷毎千比例	現員延敷毎千比例	外傷	性病	傳染病	結核病	患心	送院数	送院数	送院数

(6) 出征中ノ衛生狀況
 ハ、受療患者ノ狀況
 軍人

前	背
減	計日
1	四三〇一〇
1	一七八〇
1	〇二三三
1	一七五七
1	二二三
1	一
1	一
1	三
1	七

腹	喉	脇	腕	病	名	負	数	發	生	場	所
九	一	一	九	一	三	細菌性赤痢	一	城内教會ニ於テ侵入隊中ノ者ヨリ發生			
一	二	一	一	五	志賀型細菌性赤痢	一	パソ小学校ニ於テ侵入隊中ノ者ヨリ發生				
一	三	一	一		細菌性赤痢	一	城内教會ニ於テ侵入隊中ノ者ヨリ發生				
一	九	一	二	一	志賀型細菌性赤痢	一	パソ小学校ニ於テ侵入隊中ノ者ヨリ發生				
二	〇	一	二	二	志賀型細菌性赤痢	一	城内教會ニ於テ侵入隊中ノ者ヨリ發生				
二	四	一	二	六	細菌性赤痢	一	城内教會ニ於テ侵入隊中ノ者ヨリ發生				

發生場所	病型別	員數	記	事
ミッドル島	三日熱	二	マリベレス派遣隊ニ於テ三月間勤務セシフトアリ	
第三八紘丸	ナ	三	何レモ遺難時 ^の ハサリ三月間居住セルニ依ル	

④デング熱 六二名

発生場所	員数	発生場所	員数
ニラ本部	一七	ギヤイテ防空隊	三八
ヤンネナド連綴基地隊	二	下士官兵集會所	五

1426

(7) 被服防寒防熱換氣入浴等ノ衛生ニ関スル事項

被服洗濯ハ休憩時間並ニ夕別科後自由ニ行ハシメ寢具ハ本月二回日光消毒ヲ施行セリ入浴ハ本部派遣隊ニ在リテハ毎日許可セラレタリ

(9) 防疫傷病防止其他保健ニ関スル事項

(1) パコ小学校ニ侵入隊中者ヨリ九月十一日並ニ翌十三日同月二十日二十三日ニ亘リ赤痢患者(細菌性赤痢)各一名宛發生何レモ第百三海軍病院ニ送院其都度居住区並ニ別等關係場所ノ藥殺消毒ヲ勵行スルト共ニ指示ニ依リ兵員ニ對スル衛生思想ノ向上ヲ計レリ其後赤痢患者ノ發生ヲ見ズ

(2) 城内教會ニ侵入隊中者ヨリ九月十一日並ニ同月十九日同月二十四日ニ散發的ニ赤痢患者(細菌性赤痢)各一名宛發生何レモ第百三海軍病院ニ送院スルト共ニ其都度居住区並ニ別等關係場所ノ藥殺消毒ヲ勵

行セリ其ノ後續發セズ

(1) 九月十一日從兵急炊員酒保員則番ニ對スル月例檢便ヲ施行ノ處全部陰性

(2) 前月同様週例大掃除ノ勵行茲ニ其ノ際隊内各部ノ藥液消毒ヲ勵行セシメツツアリ

(10) 衛生ニ関スル諸檢査ノ概要
檢水成績

採取月日	採取日	採取時	天候	水質	外狀	臭味	反應	アミダ	重金屬	亞硝酸	硝酸	硫酸	石灰	その他
九一〇	九一〇	九一〇	晴	三〇・〇	透明	無味	中性	檢出ス	檢出ス	檢出ス	僅微	僅微	僅微	七・一
九一〇	九一〇	九一〇	晴	二八・五	透明	無味	中性	檢出ス	檢出ス	檢出ス	僅微	僅微	僅微	六・三
九一〇	九一〇	九一〇	晴	二八・五	透明	無味	中性	檢出ス	檢出ス	檢出ス	僅微	僅微	僅微	六・三

(11) 隊務衛生ニ関スル令達報告ノ大要

令達

月日	件名番號	發	記	事
九一六	第三南遣艦隊機務部 第五二號、一〇六	第三南遣艦隊司令部 附屬機務部科長	提出書類中改正ノ件ノ通知	
九一九	第三南遣艦隊(附) 第九四號、一〇五	第三南遣艦隊司令長	特異證明書(公務員)者名簿ノ作成	
九二二	第三南遣艦隊機務部 第九五號、一〇四		戦力増強ニ関スル臨時研究會開催ノ件通知	
九二八	第三南遣艦隊機務部 第九六號、一〇九	第三南遣艦隊司令長	令達書類等ニ関スル件ノ通報	

二九 南方面艦隊司令官 南方面艦隊軍醫長 非結核性痔瘻、病類ニ関スル件通牒

報告

月日	宛	記	事
九、一六	第三南遣艦隊軍醫長	八月分醫事要報	
二〇		八月分患者月報	
二一		戦死傷者表	

(12) 兵員労働慰安施設ニ休養等ノ概況

戦局ノ逼迫ニ鑑ミ兵員ノ外出ヲ禁止戰備防備強化ノ爲日夜々々ズ
相當繁劇ナル任務ニ服セリ偶々二二日ノ雨ニ亘リ数次飛龍セル
敵戦斗機艦上爆撃機連合大編隊ト交戦勃発激烈ナル銃爆撃ヲ
隊員克ク沈着果敢適確ナル銃撃ヲナシ最後迄軍規嚴正志氣旺盛
ニ軍人ノ本分ヲ遺憾ナク發揮セリ

(13) 教育訓練ニ関スル事項

前月同様機会アル毎ニ實物教示ヲ行フト共ニ空襲時ニ採ルべき實際的處
置法特ニ外科的治療法ヲ習得セシメ担架隊員ニ對シテハ傷病者運搬法
並ニ救急處置法ヲ教育セリ二二日ノ雨日ニ亘リ來襲セル敵戦機連

合大編隊ト交戦中傷者ノ發生ヲ見タルモ衛生部員一同沈着ニシテ適切
ナル處置ヲ行ヒ担架隊員モ又傷者運搬ニ當ツテハ迅速且適確ナル方法ヲ
取り日頃教育訓練モシ技能ヲ遺憾ナク發揮セリ

(終)

1429

69

會計經理

會計經理ニ關スル令達並ニ報告、大要

令達、部

達第三九六號 艦需品定額表及艦需品貸與品表中改正

官房經機密 第三三八五號 昭和十六年官房機密第一二六三九號中改正

第四三三號 艦船部隊等經費等取扱特例中改正

第五五七號 昭和十六年官房經機密第三二一號中改正

第五五七號 海軍戰時特例給與規則中改正

達第三二八號 海軍徵傭船船員給與規則中改正

官房人機密 第一七四八號 臨時官與支給件

報告、部

六月分前後資金土紙計算書

1430

[illegible]

70.

糧食		需品	
新糧品	生糧品		
前月ヨリ越高 五三・五五 一・二七五 本月分受高 一・二六四 六五・八五 本月分拂出高 一・三六七 九・九七五	前月ヨリ越高 一・三八五 一・五二六 本月分受高 一・三三八 五・五六	備品受込 刃裁刀大外八件 寢台蒲団外三件 枕中外四件 機下外一件 貸與品受込 行軍用釜一件 行軍用金一件 備品受込 起大外三件 ソフ外一件 額外消費品 食器碗一件 備品受込 刃裁刀大外三件 自給車一件 消耗品受込 毛筆外二五件 毛筆外二五件 池外二五件 梳外二五件	
第百參海軍需部	第百參海軍需部	第百參海軍需部	

1432

四

戰時給與規則ニ依リ交付・交換・増給・貸與ノ状況及適否

種別	受拂状況	補給状況	品名並適否
被服	要需衣第4四第ニ依リ交付有之 官給用第3九八第ニ依リ取立還納 清國軍用第1件 官給用機密第3九八第ニ依リ取立還納 下着兵外第4四第		
戰時 増給食	前月ヨリ越前 一ニニニ立 一五〇八立 本月介受高 五八八立 本月介拂出高 四〇八立 三七九外	第百參海軍部	コーヒーマロップ 紅茶 清涼飲料 乳酸飲料
戰時特別 給與品	本月介受高 日用品 臨時給與食物 一五三七圓五 六四一六圓 本月介拂出高 日用品 臨時給與食物 一三三二圓二 五三五八圓五	第百參海軍部 第百參海軍部 第百參海軍部	ビール 二六五本 オレジン水 二六五本 ミルク 五三三本 マナトケ 二六五本 醬油 二六五本 ハンカチ 二五四枚 襪 二五四枚 靴 二五四本

1433

11.

(五) 恤兵品寄贈品
+
(六) 戦利金品取扱
+

1433~2